

平成30年第1回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	3	小 林 啓 子	<p>1 「祖父母手帳」の作成について</p> <p>2 乳幼児の家庭内事故について</p> <p>3 紙おむつの処分について</p>	<p>(1) 平成28年第2回定例議会において、「祖父母手帳」作成について一般質問をした。その後の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 市民への情報の提供、掲載方法等の周知について伺う。</p> <p>(1) 幸手市において、過去3年で乳幼児の家庭内事故を伺う。</p> <p>(2) どのような事故が多いか内容を伺う。</p> <p>(3) 幸手市においては事故防止のために、どのような注意喚起をしているのかを伺う。</p> <p>(4) 東京・葛飾区では乳幼児健診等で「ヒヤリハットジオラマ」を設置し、訪れる親子らに注目されている。幸手市としても家の中で起こり得る危ない場面が一目でわかることから設置しては如何かを伺う。</p> <p>(1) 国においては本年1月、介護や子育て支援のために下水道に紙おむつを流す仕組みを検討する有識者会議の初会合を開いたと報道された。5年後をメドに実用化へするとの道筋を示した。幸手市として、紙おむつの処理については現在市民にどのように周知しているのかを伺う。</p>

				<p>(2) 今後、国の政策状況を踏まえて、前向きに調査・研究をしていくべきと考える。幸手市としてのお考えを伺う。</p>
2	2	大山重隆	<p>1 幸手の高齢者をめぐる現状・課題、その対策について（平成29年度の調査をもとに）</p> <p>2 地域包括支援センターについて</p>	<p>(1) 幸手市の特徴的、至急に取り組むべき課題を伺う。 （統計・資料をもとに答弁を願う）</p> <p>(2) (1) に対する具体的方針・施策を伺う。</p> <p>(3) 幸手市の独居高齢者・高齢者のみ世帯の割合・現状、その課題を伺う。（統計・資料をもとに答弁を願う）</p> <p>(4) (3) に対する具体的方針・施策を伺う。</p> <p>(5) 高齢者・障害者に対するコミュニティ（地域社会）のあり方を伺う。</p> <p>(6) 地域共生社会をつくり上げる必要性、また実現に向けた取り組みを市長に伺う。</p> <p>(1) 幸手市の地域包括支援センターの現状を伺う。 （運営母体・担当地域・役割・予算・人員等）</p> <p>(2) センターの適正な運営への評価・指導を伺う。</p> <p>(3) 幸手市の高齢者・要介護・要支援者の増加に伴う、センターの仕事・負担増に対し、今後のセンターにおける機能・役割が十分果たせるのか伺う。</p>

				<p>(4) 今後、介護・福祉・地域との連携・協働が重要となるが、その推進への取り組みを伺う。(特に、社会福祉協議会との連携について)</p> <p>(5) 支援センター・ケアマネージャーへの公正・中立性を保つ為の指導はどのようになされているのか伺う。</p> <p>(6) 5年前までは、地域包括支援センターは、東は公設、西は民間委託であったが、東・西ともに民間委託へ変更となった根拠、その決定過程を伺う。(提案者、会議の内容等)</p>
3	9	小林 順一	<p>1 小中学校の長寿命化の推進について</p> <p>2 無線連動警報器の設置推進について</p>	<p>(1) 市内小中学校で建設されて45年以上、またはそれに近い小中学校は何校あるのか学校別に築年数を伺う。</p> <p>(2) 文科省から長寿命化計画の作成を呼びかけられた時、文科省に提出をしたのか伺う。</p> <p>(3) 市としての長寿命化に対する施策を伺う。</p> <p>(1) 幸手市内住宅、商店に設置されている火災報知器状況を伺う。</p> <p>(2) 設置されている火災報知器の点検、確認したとき正常に作動していない報知器はどれ位のパーセントであるのか伺う。</p> <p>(3) 市内の住宅、商店の密集地域の住宅、商店、企業に無線連動警報器の設置補助の推進を提案するが所見を伺う。</p>

4	15	大平泰二	<p>1 九郎右エ門集会所補助金不正請求</p> <p>2 中島用悪水路土地改良区補助金問題</p>	<p>以下のことについて市長に答弁を求める。</p> <p>(1) 昨年12月議会の一般質問に添付した地元事業報告書(資料No. 4平成29年3月24日付)について市は「関知しない」としている。この答弁は、幸手市補助金等の交付に関する規則の第9条の補助決算の報告を定めた事項に反するのではないか。</p> <p>(2) 地元事業報告書では建設費1141万9528円となっているが、市に提出された補助金実績報告書では1265万7600円となっている。この違いの確認について伺う。</p> <p>(3) 建設資金1265万7600円中、団体資金とした376万1662円は地元事業報告書に記載されていない。市はどのように資金を確認したか。</p> <p>(4) 業者への支払額865万7600円(平成29年3月15日)が平成29年3月24日付地元事業報告書に記載されていない問題について伺う。</p> <p>(5) 自治会関係者に行った聞き取り調査を「記録として残さない」としている理由について。</p> <p>(1) 県土地改良事業団体連合会からの補助事業を、土地改良区の「単独事業」にして市に補助金の申請をした過去10年間の件数及びその交付額の報告を求める。</p> <p>(2) 事業名の上にシールを貼るなど、件名を書き変えた公文書偽造について。</p>
---	----	------	--	---

			3 国保会計広域化について	<p>(3) 刑事訴訟法第239条第2の「官吏又は公吏は、その職務を行うことにより犯罪があると思料するときは告発しなければならない」と定めた同法の適用について。</p> <p>(4) 業者発行の領収書と振り込み額の確認方法について。</p> <p>(1) 平成30年度市の対応と説明責任について。</p> <p>(2) 一般会計からの法定外繰入による国保税額の現状維持について。</p>
5	5	本田 謡子	<p>1 避難所開設訓練について</p> <p>2 福祉避難所について</p>	<p>(1) 一昨年の市の防災訓練における、避難所開設訓練の詳細を伺う。</p> <p>(2) これからの避難所開設訓練は、市の防災訓練の中で同じように行なわれるのか伺う。</p> <p>(3) 避難所トリアージについて市の考えを伺う。</p> <p>(1) 平成28年第2回定例会以降の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 福祉避難所として指定されているなのはなの里、さくらの里、老人福祉センターの収容人数と避難所としての想定収容人数を伺う。</p> <p>(3) 福祉避難所開設についても、訓練が必要と思うが、市の考えを伺う。</p> <p>(4) 福祉避難所の運営は、どのような人が加わってくるのか伺う。</p>

6	1 2	青 木 章	<p>1 駅舎と自由通路について</p> <p>2 駅西口駅広と停車場線等について</p> <p>3 親水公園等について</p>	<p>(1) 進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 今後の工事概要、日程について伺う。</p> <p>(3) オープン予定について伺う。</p> <p>(4) 自由通路の概要について伺う。</p> <p>(5) エスカレーター下の空スペースの有効利用について伺う。</p> <p>(6) 仮駅舎の解体について伺う。</p> <p>(1) 進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 今後の工事概要、日程について伺う。</p> <p>(3) 停車場線等の道路の仕様について伺う。</p> <p>(4) 幸手市の保留地の扱いについて伺う。</p> <p>(1) 進捗状況について伺う。</p> <p>(2) オープン時期と今後の日程について伺う。</p> <p>(3) 駅舎・自由通路のオープニングセレモニーについて伺う。</p>
---	-----	-------	--	--

7	7	宮 杉 勝 男	<p>1 積雪対応の件</p> <p>2 地域包括ケアシステムについて</p>	<p>(1) 平成30年1月22日から23日にかけて降り続いた雪に対する対応を伺う。</p> <p>(2) 市民要望の内容を伺う。</p> <p>(3) 積雪による事故の状況を伺う。</p> <p>(4) 改善点があれば伺う。</p> <p>(1) 一般的な地域包括ケアシステムと幸手モデルの違いを伺う。</p> <p>(2) さらに良いシステムにするために、行政に対してどのような要望があるか伺う。</p> <p>(3) (2)に対する対応を伺う。</p>
8	6	松 田 雅 代	1 幸手市の新年度組織改革について	<p>(1) 新年度から総合政策部・政策課を新設するなど機構が改められる。機構改正の基本方針の1つ、「命令・意思決定ラインの明確化」とは具体的に何を指すのか。現状と改革案を伺う。</p> <p>(2) 機構改革庁内協議体のメンバー構成、役割を伺う。また、職員関与が限定的であったと思われるが理由を伺う。</p> <p>(3) 現行組織体制の不都合な点等の洗い出しはどのように行ったのか。</p> <p>(4) 庁内職員への説明が議会への説明（11/22）後というのどのような理由か。</p>

			<p>(5) 各部及び各課の所掌事務、市長部局の各課の組織及び事務分掌は、今後、幸手市役所規則を見直し、一部の改正を措置するとのことであつたが、進捗を伺う。</p> <p>現在、全国の多くの自治体がコンパクトシティに向けたまちづくりを進めている。国は、2014年に都市再生特別措置法を改正し、「立地適正化計画」の策定を進めている。そこで伺う。</p> <p>(1) 幸手市における「コンパクトシティ」の考え方を伺う。</p> <p>(2) 「立地適正化計画」策定の利点・デメリット、国・県の動向を伺う。</p> <p>(3) 市の「立地適正化計画」策定への今後の取り組みを伺う。</p>
		2 幸手市の「立地適正化計画」への取り組みについて	
		3 幸手市デマンド交通について	<p>(1) 幸手市地域公共交通会議の開催状況を伺う。</p> <p>(2) 現在運行中の幸手市デマンド交通は、予約が取れない等、市民から利便性向上への要望が絶えない。幸手市公共交通会議での協議状況、改善策を伺う。</p> <p>(3) 「コンパクト+ネットワーク」の観点から、現在各地で取り組みが進む「地域公共交通網形成計画」。策定の利点・デメリット、国・県の動向を伺う。</p> <p>(4) 市の「地域公共交通網形成計画」策定への取り組み予定を伺う。</p>
		4 幸手市の農業を元気にする農業振興対策について	<p>(1) 来年度の国・県の農業振興策の動向を伺う。</p>

				<p>(2) 来年度、農業振興課が積極的に取り組む農業振興施策を伺う。</p> <p>(3) 市内「埼玉県特別栽培農産物利用店」「県産農産物サポート店」の登録状況を伺う。</p> <p>(4) 今後は利用店、サポート店の登録拡大に取り組むべきと考えるが、市の考えを伺う。</p>
9	8	木村治夫	<p>1 市民に対する行政サービスについて</p> <p>2 幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p> <p>3 平成30年度一般会計予算について</p>	<p>(1) 保健福祉総合センター（ウェルス幸手）施設へのATM設置について伺う。</p> <p>(1) 総合戦略基本目標1、2、3、4の2016年度、2017年度の施策・課題・検証について伺う。</p> <p>(2) 総合戦略基本目標1、2、3、4の2018年度の新規施策について伺う。</p> <p>(1) 歳入財源増の施策について伺う。</p> <p>(2) 歳出抑制策について伺う。</p>
10	14	武藤壽男	<p>1 道路の補修整備について</p>	<p>(1) 道路状況の現状について伺う。</p> <p>(2) 道路の補修等の市民からの要望と対応について伺う。</p> <p>(3) 道路舗装の耐用年数と構造について伺う。</p> <p>(4) 維持管理に必要な維持補修費について伺う。</p>

			<p>2 インフラ施設等の総合管理計画について</p>	<p>(5) 道路の更新管理計画と財源計画について伺う。</p> <p>(6) 都市計画道路等の新設整備計画と財源について伺う。</p> <p>(1) 基本的な方針について伺う。</p> <p>(2) 水道施設の現状と老朽化施設等の整備計画について伺う。</p> <p>(3) 下水道施設の現状と今後の計画について伺う。</p> <p>(4) 農業集落排水の今後の対応について伺う。</p> <p>(5) 水路等の維持管理について伺う。</p> <p>(6) 消防署庁舎等の今後の対応について伺う。</p>
--	--	--	-----------------------------	---